

事業報告書

〔自 平成 24(2012)年 4 月 1 日 至 平成 25(2013)年 3 月 31 日〕

1. 事業概要

平成 24(2012)年度の事業においても、「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを目的に、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等の現代社会の諸課題に対して正面から向き合い、その研究ならびに事業に対し助成を行うとともに、その成果について社会へ発信することを目指した。

とりわけ、助成継続の必要性が高い「東日本大震災」被災地域に対しては、以下の取り組みを重点的に実施した。

- (1) 前年度に引き続き、国内助成プログラム内に東日本大震災対応の「特定課題」を設定し助成を実施。
- (2) 当該「特定課題」に「地域間連携助成」という新規のカテゴリーを設け、被災地住民とそれ以外の地域間の連携強化に向けた助成を実施。
- (3) イニシアティブプログラムの枠組みの中で、前年度同様、パナソニック教育財団との東日本大震災対応共同助成を実施。

また、アジア隣人プログラムでは、近年急激な変化を見せているアジアと日本の状況を勘案し、当財団の国際助成分野の見直しに着手。具体的には、従来実施してきたプログラムを休止し、1年限りの特別企画として、日本の国際協力NGO等のアジア各国での実践活動を振り返ることにより、「未来への展望」や提言を報告書として取りまとめる取り組みに対して助成を実施した。

<平成 24(2012)年度助成実績>

助成プログラム		応募件数	助成件数	助成金(千円)	予算(千円)
公 募	国内助成プログラム				
	(一般)	508	23	80,000	80,000
	(震災)特定課題	331	40	103,200	110,000
	アジア隣人プログラム	106	19	49,800	50,000
	研究助成プログラム				
	(共同)	385	13	67,100	80,000
(個人)	495	21	27,990	20,000	
	(震災)特定課題	91	9	30,000	30,000
非 公 募	社会コミュニケーションプログラム	—	4	11,266	20,000
	イニシアティブプログラム				
	イニシアティブ助成	—	4	19,000	20,000
	SEASREP	1	1	10,000	10,000
計			134	398,356	420,000

II. 助成内容

1. 国内助成プログラム

<一般枠>

当年度は、『地域社会プログラム』から『国内助成プログラム』へと名称を変更し、『人がつながり、地域が動く 一緒に拓く私たちの未来』をテーマとし、「活動助成」「地域間連携助成」という二つのカテゴリーを設け、多様な個人、団体、組織がともに連携し、地域にくらす人びとの主体性をつながりやを育み、課題の解決に向けて真正面から取り組む、持続的かつ意欲的なプロジェクトに対し助成を行った。

「活動助成」 活動地域で生活する人々の主体的な参加のもと、対象地域の課題解決に結びつく意欲的な取り組み

「地域間連携助成」 同様の課題を抱える地域やノウハウをもつ地域の住民が連携し、ともに協力しながら課題解決を目指す取り組み

(1)テーマ： 「人がつながり、地域が動く 一緒に拓く私たちの未来」

(2)公募期間： 2012年10月9日～11月19日

(3)助成実績

上段：2012度

(下段：2011度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
508 (364)	23 (15)	80,000 (51,600)	80,000 (60,000)	4.5% (4.1%)

<<2012度の内訳>>

	応募件数	助成件数	採択率
活動助成	433件	18件	4.2%
地域間連携助成	75件	5件	6.7%
合計	508件	23件	4.5%

<特定課題>

当年度も東日本大震災対応の「特定課題」として助成を行った。流動的な被災地の状況に柔軟に対応するべく、年2回(夏・冬)の公募を行い、「活動助成」(夏・冬)「地域間連携助成」(冬のみ)という二つのカテゴリーに対し助成を行った。

「活動助成」 東日本大震災の被災地域または避難地域に居住地のある人びとが主体となった、生活再建および地域コミュニティ再生に向けた取り組み

「地域間連携助成」 被災地域の住民・団体が連携し、他地域の事例やノウハウを活かしながら地域間の持続的なつながりや協力関係を創出する取り組み

(1)公募期間： 夏助成 2012年4月2日～5月1日

冬助成 2012年8月1日～9月12日

(2)応募資格： 外部からの支援団体が中心となる活動は対象とせず、当該地域の住民主体で多様なメンバーを巻き込んだものであれば、法人格の有無・実績を問わず

(3) 助成実績

上段：2012 度
(下段：2011 度)

		応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
活動助成	夏	186	15	32,800	40,000	8.1%
	冬	121	20	43,500	40,000	16.5%
	計	307 (236)	35 (29)	76,300 (59,050)	80,000 (60,000)	11.4% (12.3%)
地域間連携助成		24	5	26,900	30,000	20.8%
計		331	40	103,200	110,000	12.1%

2. アジア隣人プログラム

当年度は、昨年度まで実施してきたアジア隣人プログラムを休止し1年限りの特別企画として、「未来への展望」をテーマに助成を行った。アジアと日本の変化を踏まえ、当財団で従来行っていた実践的なプロジェクトへの支援から一歩踏み出し、アジア各地で課題解決のための実践活動に取り組んできた人たちが一堂に会し、これまでの実践活動を振り返るとともに、この結果をもとにアジアと日本の未来に対する展望や提言を報告書としてとりまとめる企画に対し助成を行った。

- (1) 助成領域： 「変わりゆく日々の暮らし」
「個人を支える社会のかたち」
「多文化共生社会への試み」

(2) 公募期間： 2012年6月4日～7月6日

(3) 助成実績

上段：2012 度
(下段：2011 度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
106 (245)	19 (22)	49,800 (71,150)	50,000 (120,000)	17.9% (9.0%)

3. 研究助成プログラム

<一般枠>

当年度は、昨年度と同様、<カテゴリーA>「共同研究助成」と<カテゴリーB>「個人奨励助成」という二つのカテゴリーに対し助成を行った。ただ、当年度は、新たな未来へ向かって斬新なビジョンを提案する研究プロジェクトを積極的に支援したいという考え方から、<カテゴリーA>内の順序を入れ替え、<A1>を「社会的課題の解決に資する実践的な研究」から「社会の新たな価値の創出をめざす研究」とし、既存の枠組みにとらわれない、柔軟な発想に基づいた先駆的で、社会的意義の大きい研究プロジェクトに対し助成を行った。

<カテゴリーA> 共同研究助成

1. 社会の新たな価値の創出をめざす研究
2. 社会的課題の解決に資する実践的な研究

<カテゴリーB> 個人奨励助成

(1)テーマ： 「よりよい未来を築く知の探究」

(2)公募期間： 2012年4月16日～5月18日

(3)助成実績

上段：2012度
(下段：2011度)

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
880 (862)	34 (47)	95,090 (141,300)	100,000 (150,000)	3.9% (5.5%)

《2012度の内訳》

上段：2012度
(下段：2011度)

	応募件数	助成件数	採択率
共同研究助成<A1>	149件 (121件)	5件 (11件)	3.4% (9.0%)
共同研究助成<A2>	236件 (242件)	8件 (12件)	3.4% (5.0%)
個人奨励助成	495件 (499件)	21件 (24件)	4.2% (4.8%)
合計	880件 (862件)	34件 (47件)	3.9% (5.5%)

<特定課題>

当年度は、東日本大震災対応の「特定課題」として、国内助成プログラム「特定課題」と同時に公募を行い、東日本大震災の被災地域または避難地域の復興に寄与する、具体的かつ明確な成果(論文・政策提言等)の発信をめざす研究に対し助成を行った。

(1)公募期間： 2012年4月2日～5月1日

(2)応募資格： 被災地の復興に寄与する課題解決型の研究であることを要件とし、法人格の有無・所属・居住地を問わず

(3)助成実績

応募件数	助成件数	助成金額(千円)	予算(千円)	採択率
91	9	30,000	30,000	9.9%

4. 社会コミュニケーションプログラム

当財団が、これまで海外における助成を数多く行いながら、その成果発信が不十分であったとの認識に基づき、当年度は過去5年間のアジア隣人プログラム・アジア隣人ネットワークプログラムの助成対象者のうち、一定の成果をあげ社会に対して発信する意義・能力のあるプロジェクトに対し、国際シンポジウムの開催費用の助成を行った(3件・1,070万円)。また、過去の東南アジア国別助成プログラムにおけるラオスでの助成プロジェクト成果の出版に対しても助成を行った(1件・6,200米ドル)。

○助成実績

上段：2012年度
 (下段：2011年度)

助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
4	20,000	11,266
(1)	(20,000)	(1,289)

5. イニシアティブプログラム

当年度も東日本大震災への対応に特化し、被災地域における子どもの居場所作りと次世代育成への取り組みに対し、公益財団法人パナソニック教育財団と共同で助成を行うとともに、民間財団として助成の意義の大きいと判断されるプロジェクトへの助成も行った。また、引き続き東南アジア研究地域交流プログラム(SEASREP)におけるアジア地域内の若手研究者育成を狙いとしたプログラムへの助成を行った。

○助成実績

(単位：千円)

	題 目	助成対象者	助成金額
「東日本大震災」対応 (パナソニック教育財団との共同助成)			
①	うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト	(特活)ビーンズふくしま	6,000
②	子どものエンパワメント支援事業 -夢の実現につながる居場所づくりと学習支援	一般社団法人子どものエンパワメントいわて	6,000
③	宮城県内の仮設住宅地における「子ども未来館」設置	(特活)「人間の安全保障」フォーラム	6,000
イニシアティブ助成			
①	アジア研究に関するアフリカでのワークショップ	アジア研究国際研究所	1,000
東南アジア研究地域交流プログラム(SEASREP)			
①	SEASREP財団によるSEASREP事業の実施	SEASREP財団	10,000
合 計			29,000

Ⅲ. その他の活動

1. 広報活動

プログラム部門と連携した報告会等を企画し、その成果を広報誌誌面やウェブサイトで発信するなどプログラム部門との連携を強化した。広報誌(JOINT)は、以下の通り年3回発行した。

	刊行日	特集タイトル	発行部数
第9号	2012年4月25日	地域からコミュニティを考える	5,000
第10号	2012年8月30日	失われゆく知恵、未来への継承	
第11号	2013年1月30日	これからのアジアと日本	

2. 報告会の開催

助成対象者間のネットワーク作り、研究や事業に関する情報交換、助成プロジェクトの成果向上などを目的に報告会を開催した。開催概要は以下のとおり。

開催日	タイトル	開催地	参加者
2012年10月23日	(助成金贈呈式併設報告会) 助成対象者OB・OG報告	東京	2012年度助成対象者など約100名
2012年11月27日	トヨタ財団・パナソニック教育財団東日本 大震災共同プロジェクト 「子どもの居場所づくりと次世代の育成」 報告会	仙台	東北地方で活動するNPO関係者・ 助成対象者など 約50名
2012年12月18日	アジア隣人プログラム「未来への展望」 キックオフワークショップ	東京	2012年度助成対象者22名
2013年3月22日	助成事例報告会 「Living Together:『多文化共生』を越えて」	東京	過去の助成対象者など約25名

IV. 会議実績

理 事 会

第11回理事会〔平成24年6月8日(金)〕

1. 平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 諸規程の見直しについて
3. 第5回評議員会の日時・場所・目的である事項について
4. 改選後の役員候補(案)について

報告事項

1. 公募プログラムの応募状況について

第12回理事会〔平成24年6月25日(月)〕

1. 代表理事及び業務執行理事の選任について
2. 会長、理事長及び常務理事の選任について
3. 平成24年度東日本大震災対応「特定課題(国内助成プログラム・研究助成プログラム)助成対象の決定について
4. 平成24年度イニシアティブプログラム助成対象の決定について

第13回理事会〔平成24年10月1日(月)〕

1. 平成24年度アジア隣人プログラム助成対象の決定について
2. 平成24年度研究助成プログラム助成対象の決定について
3. 平成24年度社会コミュニケーションプログラム助成対象の決定について
4. 平成24年度事業計画の一部変更について
5. 平成24年度イニシアティブプログラム助成対象の決定について
6. 平成24年度会計監査人監査報酬について

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. アジア隣人プログラム・研究助成プログラム助成金贈呈式について
3. 次回理事会について

第14回理事会(書面)〔平成24年12月3日(月)〕

1. 平成24年度国内助成プログラム東日本大震災対応「特定課題」助成対象の決定について

第15回理事会(書面)〔平成25年2月25日(月)〕

1. 第6回評議員会の日時・場所・目的である事項について

第16回理事会〔平成25年3月29日(金)〕

1. 平成24年度国内助成プログラム助成対象の決定について
2. 平成24年度業務執行理事の役員報酬額について
3. 「役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改定(案)について
4. 平成25年度役員報酬額について
5. 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
6. イニシアティブプログラム等選考委員会設置について

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. 国内助成プログラム贈呈式について

評議員会

第5回評議員会〔平成24年6月25日(月)〕

1. 平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 役員選任の件

報告事項

1. 公募プログラムの応募状況について

第6回評議員会〔平成25年3月29日(金)〕

1. 「役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改定(案)について

報告事項

1. 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
2. 国内助成プログラム贈呈式について

国内助成プログラム選考委員会

選考委員会（特定課題） 平成 24 年 5 月 28 日（月）

選考委員会（特定課題） 平成 24 年 10 月 15 日（月）

選考委員会（一般枠） 平成 25 年 1 月 31 日（木）

アジア隣人プログラム選考委員会

選考委員会 平成 24 年 8 月 28 日（火）

研究助成プログラム選考委員会

選考準備会 平成 24 年 5 月 30 日（水）

選考委員会 平成 24 年 7 月 21 日（土）

助成金贈呈式

アジア隣人プログラム・研究助成プログラム 平成 24 年 10 月 23 日（火）
(於ハイアットリージェンシー東京)

V. 附属明細書

平成 24(2012)年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。